県木造住宅推進協議会講習会

杉材の活用拡大を

県木造住宅推進協議会（守真和弘会長）は2月28日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で杉材の有効利用等に係る講習会を開いた。設計事務所や工務店など関係者約120人が参加し、地域材を活用した家づくりの在り方等について理解を深めた。

同日は、Ms建築設計事務所主宰の三澤康彦氏が講師を務め、木造住宅建設に係る杉材の活用方法等について解説。地産地消の意識が高まる中、「今後、構造材としてだけでなく床板や枠、家具パネルなど活用範囲を広げていくことが大切」とし、既存の流通に乗らない独自の木材ルートをもつことの重要性も指摘した。住まい手に対しては、「構造性能はもちろん、木の産地などその素性を明確にすることが必要」などと説明した。

国内を代表する林産地等の紹介では、約5000haの自社林を持つ山長商店（和歌山県）や杉パネルなど多くの杉加工品を手掛けるトライ・ウッド（大分県）、白アリ対策に効果を発揮する栗の原木製材（土台等に利用）で有名な小林三之助商店（岐阜県）などが紹介された。

〝地材地建〟をテーマに、認証かごしま材による家づくりなど県産材の利用促進に取り組む同協議会。守真会長は、「安全で快適な家づくりの参考にしてほしい」と話した。

家づくりの参考に――と話す守真会長＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

県建設業協会谷山支部

こどもを守る会

通学路をパトロール

子どもを危険な事件・事故から守りたい！。県建設業協会谷山支部（富迫茂支部長）は、ボランティアで児童の通学路をパトロールする「こどもを守る会」を結成し、昨年末から活動を始めた。協会支部では初めての試み。地域住民らから大変ありがたいと喜ばれている。

昨今、子どもたちが犠牲になる凶悪な事件等が相次いでいる。同支部では児童が下校する通学路を中心に巡回した。

三反田専務理事は、「子どもたちを守る抑止力になりたいと発案。管内の小学校からも快諾され、昨年末から始めた。協会員らは仕事の合間をぬって週2、3回、16小学校を対象に活動している。

1日、鹿児島市の西谷山小学校に同支部の三反田義光専務理事㈱三反田建設、清輝建設㈱の上村清俊社長、㈲永里興産の壱岐三郎氏が集合。〝こどもたちを守る会　県建設業協会谷山支部〟と書かれたステッカーが張られた車3台で、寂しい通学路を中心に巡回した。

や町内会などの方からも協力の輪が広がっています」と語った。

下校する児童と写真に納まる協会員＝鹿児島市の西谷山

加治木高校舎全面改装記念式

内・外装とも現代的に

県立加治木高等学校の校舎全面改装記念式が2月28日、加治木町の同校で開かれ、県及び学校職員、全校生徒、工事関係者らが出席して無事竣工を祝った。

冒頭、上村英治校長は「県の積極的支援により外装、内装とも現代的に生まれ変わった。これを機に気持ちを新たに教育活動に励みたい」と挨拶。続いて福元紘県教育長（代読）と長野芳幸同窓会長が「16、17年の2年間にわたり、大規模な改造がなされた。楽しく明るい学校生活に向け、さらに前進されることを期待している」とそれぞれ祝辞を贈った。

これを受けて、生徒会長の大毛淑恵さんが「今まで以上に学業に集中できる環境になり、心から感謝します」と謝辞を述べた。

同校は、16年度に第2棟校舎耐震補強・大規模改修、17年度に第1棟校舎耐震補強・大規模改修が実施された。木肌で優しく透明感のある普通教室、清潔な洋式トイレ、滑りにくい安全な廊下など、現代的に改装された。また耐震補強を外観デザインの一部として積極的に取り入れるなど、生徒が登校する正門からの景観にも配慮した。総工費は約5億5500万円。

なお施工は、大英建設㈱、㈱川原建設、㈱キョクヨウ、丸岡建設㈱、㈱岩澤組が担当した。

謝辞を述べる大毛生徒会長＝加治木高校体育館で

全国管洗浄協会

九州支部幹事会

定期的清掃を提案

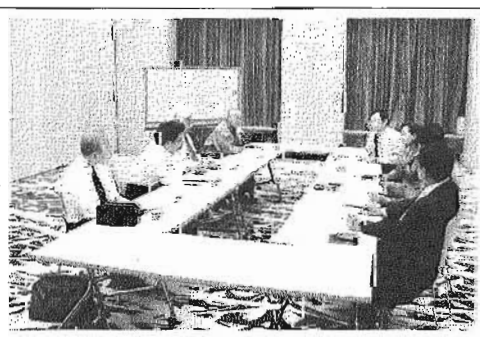
中間法人全国管洗浄協会九州支部幹事会（難波信二支部長）は2月23日、鹿児島市の国民宿舎レイ

き、協会として取り組む郊外店舗排水管の定期清掃について具体的な実施要綱、マニュアル等について協議した。

幹事会には、本県から深利憲二副支部長（有）サニット鹿児島）、前田辰治幹事（有）メック）の代理で前田敏宏氏（同）ら、沖縄を含む8人が出席。冒頭、難波支部長が「協会では郊外店舗の排水管の定期清掃について全国展開を目指している。さまざまな問題や課題が予想されるが、九州から先駆的に取り組み、情報発信していこう」と挨拶。

を座長に協議に入った。その中では、郊外店舗の定期清掃について現在の活動状況を説明。また、①具体的なサービス内容②24時間体制への対応③最新高圧洗浄ノズルの導入④協会員の拡大啓発⑤技術講習会の内容―など具体的な項目について活発に意見交換した。

郊外店舗のチルド冷蔵庫や流し台、トイレなどからの排水には油脂等さまざまな混入物が含まれ、また、清掃の不徹底などから排水不良や管閉塞（へいそく）などが多々ある。協会では排水管の定期清掃を提案し、全国



技術講習会等について協議する幹事＝鹿児島市の国

SMART作戦実施中

じわじわと成果

薩摩川内市

薩摩川内市は、17年度から「市民が求める公共サービスを最良の形で提供する」（市政改革大綱）を目標に「SMART作戦」を展開中。このほど、市役所6階会議室で支所や部局が取り組んできた「事務改善」「接遇改善」「経費削減」についての優秀事例発表会、題して「SMART発表'05」があった。

SMARTはSense（意識・感覚）Manner（態度・礼儀）Active（積極的）Renewel（再生・一新する）Try（挑戦）で「職員各自の意識、態度、積極性を一新、再生・挑戦」の略。市民の立場になって各組織や職員の使命を明確にし、行動計画を立て、課題解決に取り組む改善活動として位置付けた。

建設関連部署の重点目標は、契約検査室が「職員が庁舎を飛び出してサービスを行う。住民の生の声を聞く。SMART作戦は庁外で行え！」。建設政策課は「迅速な行動・声かけ、挨拶の励行」。

ある建設業者は「そういえば電話を掛けたら○○課○○ですと、先方から名乗ったよな」とSMART作戦はじわじわと成果を獲得中だ。なお行動計画は他の部署を含めHP等で公表している。

接遇改善など優秀事例が紹介された発表会＝薩摩川内市役所で

17年度河川愛護運動 表彰状伝達式

4自治会に表彰状

鹿児島土木

県鹿児島土木事務所（郡山博昭所長）は2月27日、鹿児島市の郡山支所で17年度河川愛護運動表彰状伝達式が行われ、河川愛護に尽力した郡山地区の4団体に県知事表彰が伝達された。

初めに、郡山所長（代理＝前田靜俊次長兼技術調整課長）が受賞者一人ひとりに表彰状と副賞を手渡した後、挨拶に立った前田次長は「各自治会の皆さんは、河川愛護の主旨を理解のもと熱心に清掃活動などに尽力してくださり感謝しています」、本坊廣紀鹿児島市郡山支所長は「郡山地区は甲突川の支流に位置する場所で、川への愛着もあると思います。今後も素晴らしい川を維持できるように頑張ってください」とそれぞれ祝辞を述べた。

伝達式後の意見交換会で各自治会の会長らは「川をきれいにすることでごみを捨てなくなる」などと感想を語った。

表彰4団体は次の通り。

向江谷自治会　当

記念写真に納まる受賞者

県議会、一般質問

南薩縦貫道の整備など

18年県議会第1回定例会は2日、5議員による一般質問を行う。主な質問内容は次の通り。

【桐原琢磨議員】
・バリアフリーの推進

【酒匂卓郎議員】
・県道伊集院蒲生溝辺線

【永井章義議員】
・電波情報通信網の整備

【岩崎昌弘議員】
・消防防災行政

【上野新作議員】
・南薩縦貫道の整備